

中央第一児童クラブ



出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和8年1月13日(火)

中央第一児童クラブの児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、土器分類体験、火起こし体験、ミニミニはにわ作り体験を行いました。



土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。

<児童の感想>

色々な色や形があって、難しかったけど楽しかった。
ぼこぼこしていて楽しかったよ。
1000年～3000年前の本物の土器を実際に見ることができ、貴重な体験でした。



火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

なかなか火がつかなくて大変だったけど友達と一緒にがんばったら火がついて嬉しかった。
息が合わなくて難しかったけど楽しかった。
現代の便利さを改めて実感しました。



ミニミニはにわ作り体験



粘土をこねて、ミニはにわをいっしょうけんめい作りました。

<児童の感想>

初めて作ったけどかわいくできたので家族にほめてもらいたい。
粘土がのびるところが楽しかった。
粘土をこねて一人ひとりオリジナルのはにわができました。



<担当職員さんの感想>

どの活動も児童が興味をもって積極的に取り組んでいました。火起こしの大変さを実感し、古代人の生活を思い、想像する機会になったと思います。文化財センターの職員さんの説明やアドバイスは、児童に理解しやすい言葉を使って指導していただいたので、質問しやすい雰囲気の中、楽しい時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

